

建築・環境デザイン学科 授業概要一覧

| 科目名   | 区分 | 授業形態 | 配当年次 | 単位数 |
|---|----|------|------|-----|
| 授業の目的・目標  |    |      |      |     |
| 授業の概要   |    |      |      |     |
| 環境デザイン基礎演習Ⅰ   | 必修 | 演習   | 1年次  | 4単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築デザインに必須の、2次元、3次元表現の基礎技術を修得する。</p> <p>到達目標：<br/>3次元立体空間を2次元に、あるいはスケールを変換して理解・表現できる。<br/>製図・模型制作・コンピュータモデリングの基本的な手法を用いることができる。<br/>上記の技術を適切に用いて簡単な空間作品を制作できる。</p> <p>授業の概要：<br/>環境や建築をデザインするとは、すなわち空間をデザインすることである。図面や模型、コンピュータモデリング等の形態や空間を表現する手段を学ぶ。</p>   |    |      |      |     |
| 環境デザイン概論  | 必修 | 講義   | 1年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>環境デザインを構成する専門分野の広がりを見出す力を養う授業を行う。</p> <p>到達目標：<br/>専任教員のそれぞれの専門分野に関する講義を通じて、環境デザイン及び建築デザインという学問分野がどのような広がりを持つものかを理解できる。</p> <p>授業の概要：<br/>現代における都市・建築・ランドスケープ・インテリアを中心とするデザインの動向を、優れた事例などを通して学ぶことで、この分野のデザインの特色と魅力の理解を図る。</p>   |    |      |      |     |
| 環境デザイン基礎演習Ⅱ   | 必修 | 演習   | 1年次  | 4単位 |
| <p>授業の目的：<br/>環境デザインに取り組むうえで重要な、環境情報を読み取る方法、環境情報を的確にまとめて他者に伝える方法を学び、環境デザインの提案につながるまでの基礎的な方法を修得する。</p> <p>到達目標：<br/>身の回りの環境に関する情報を、実際の建築や町並みをはじめ、地図や地誌類などのさまざまな資料から読み取り、適切な表現にまとめることができる。<br/>読み取った環境に関する情報を手掛かりに、環境デザインの提案をすることができる。</p> <p>授業の概要：<br/>まちづくりや建築の設計、商業施設等のブランディング等で必要となるリサーチやマーケティング手法の基礎について学習する。</p> |    |      |      |     |
| CAD基礎演習   | 必修 | 演習   | 1年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>CAD (Computer Aided Design) の初学者を対象として、基本設計図書レベルの2次元製図の基本技法を習得する。さらに、3次元のオブジェクトを用いた設計の基本についても学習する。</p> <p>到達目標：<br/>コンピュータを用いた建築設計やインテリアデザインに必要な、製図、モデリング、プレゼンテーションといった、一連の作業の流れを把握すると同時に、CADを活用する上で必要な諸概念についても理解することを目標とする。</p> <p>授業の概要：<br/>CADソフトの基本的な操作を学び、2次元図形の作成や3次元のモデリング方法の基礎を学習する。</p>       |    |      |      |     |
| 環境デザイン実習Ⅰ   | 必修 | 実習   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>課題制作を通して、建築デザインの基礎を学び、設計プロセスおよび図面と模型による設計表現方法の基本を習得する。</p> <p>到達目標：<br/>小規模な住宅の基本設計ができるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>小規模住宅の設計を通して、建築デザインの基礎を学ぶとともに、建築設計のプロセスを理解する。</p>   |    |      |      |     |
| 環境デザイン実習Ⅱ   | 必修 | 実習   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>課題制作を通して、ランドスケープデザインの基礎を学び、設計プロセスおよび図面と模型による設計表現方法の基本を習得する。</p> <p>到達目標：<br/>広場等の基本設計ができるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>都市広場を設計することにより、ランドスケープデザインの基礎を学ぶとともに、ランドスケープを設計するプロセスを理解する。</p>   |    |      |      |     |
| 環境デザイン実習Ⅲ   | 必修 | 実習   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>インテリア（物販店）をデザインする方法について理解し、提案内容を図面・模型・企画書等で表現・伝達する技術を身につける。</p> <p>到達目標：<br/>物販店におけるインテリアの基本設計ができるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>テーマを明確にしたセレクトショップのデザインを通して、企画の立案と、その内容を伝えるのに必要なプレゼンテーション技法を学習する。</p>   |    |      |      |     |

| 科目名   | 区分   | 授業形態 | 配当年次 | 単位数 |
|---|------|------|------|-----|
| 授業の目的・目標  |      |      |      |     |
| 授業の概要   |      |      |      |     |
| <b>環境デザイン実習Ⅳ</b>  | 必修   | 実習   | 2年次  | 2単位 |
| 授業の目的：<br>中規模の建物（公共施設）をデザインする方法について理解し、提案内容を図面・模型・企画書等で表現・伝達する技術を身につける。<br>到達目標：<br>公共施設の基本設計ができるようになる。   |      |      |      |     |
| 授業の概要：<br>公共施設的设计課題を通して、まちづくりからインテリアまで様々な視点を持った設計手法を学習する。   |      |      |      |     |
| <b>環境デザイン応用演習Ⅰ</b>  | 必修   | 演習   | 3年次  | 3単位 |
| 授業の目的：<br>規模が大きい複合型の施設を設計するための建築計画に基づく合理的な形態や材料、構造などを判断するデザイン力を獲得し、それを図面や模型で表現、伝達する方法と技術を身につける。<br>また商空間（飲食店）の企画・デザインとリノベーションを含めたインテリア空間計画の考え方や方法について理解し、提案内容を図面・模型・企画書等で具体的に表現・伝達する技術を身につける。 |      |      |      |     |
| 授業の概要：<br>2課題を出題するが任意の1課題を選択する。<br>課題A:新しい空間メディアとなる公共施設の設計を行う。<br>課題B:テナント区画を想定した飲食店のデザインを通して、店舗の社会的役割を考慮した企画立案と飲食店のデザインに必要な基礎的な設計手法を修得する。  |      |      |      |     |
| <b>環境デザイン応用演習Ⅱ</b>  | 必修   | 演習   | 3年次  | 3単位 |
| 授業の目的：<br>規模が大きい複合型の施設を設計するための建築計画に基づく合理的な形態や材料、構造などを判断するデザイン力を獲得し、それを図面や模型で表現、伝達する方法と技術を身につける。<br>また商空間（飲食店）の企画・デザインとリノベーションを含めたインテリア空間計画の考え方や方法について理解し、提案内容を図面・模型・企画書等で具体的に表現・伝達する技術を身につける。 |      |      |      |     |
| 授業の概要：<br>2課題を出題するが任意の1課題を選択する。<br>課題A:都市に住むことの多様性を受けとめる複合施設の設計を行う。<br>課題B:パブリックな内部空間のプランニングを通して、インテリアグリーンや家具エレメントも含まれた空間デザイン手法を修得する。   |      |      |      |     |
| <b>環境デザインプロジェクト</b>   | 必修   | 演習   | 3年次  | 3単位 |
| 授業の目的：<br>各担当教員の専門性を踏まえた、具体的なプロジェクトを通して、より高度なデザイン能力を身につける。<br>到達目標：<br>・プロジェクトを通じて課題や企画・計画の提案を分析的に説明できるようになる。<br>・社会的実践への構想力を広げることができるようになる。  |      |      |      |     |
| 授業の概要：<br>各担当教員がそれぞれの専門性と、「まちづくり・ランドスケープ」「建築・リノベーション」「商空間・インテリア」の3コースの特性を考慮したプロジェクト課題や演習課題を準備する。実際に進行中のプロジェクトや公開コンペへの参加、特色のある各種演習などに参加する機会が与えられる。   |      |      |      |     |
| <b>まちづくり・ランドスケープ総合演習</b>  | 選択必修 | 演習   | 3年次  | 3単位 |
| 授業の目的：<br>まちづくり・ランドスケープにおける今日的な課題を理解し、対象地域の現状把握、課題提出、計画立案にいたるプロセスを学び、「つくる視点」と「使う視点」から空間やシステムを考える能力を身につける。<br>到達目標：<br>広い視野のもとに都市や地域社会との関係を考慮したプログラムとデザインを組み立てる能力を身につける。                       |      |      |      |     |
| 授業の概要：<br>アーバンプランニングおよびランドスケープデザインの専門的な調査・分析、計画・設計の学修を深めるとともに、卒業研究に向けた総合的なデザイン力を養う。   |      |      |      |     |
| <b>建築・リノベーション総合演習</b>   | 選択必修 | 演習   | 3年次  | 3単位 |
| 授業の目的：<br>建築及びその歴史的ストックの活用としてのリノベーションにおける専門性を踏まえた調査・分析、計画・設計の学習を深める。<br>到達目標：<br>建築及びリノベーションに関する具体的な知識と設計手法を身につけ、それを通して、建築と都市や地域社会との関係を考慮したプログラムやデザインを組み立てる構想力や卒業研究に向けた総合的なデザイン力を養う。          |      |      |      |     |
| 授業の概要：<br>建築及びその歴史的ストックの活用としてのリノベーションにおける専門性を踏まえた調査・分析、計画・設計の学習を通して、卒業研究に向けた総合的なデザイン力を養う。   |      |      |      |     |

| 科目名  | 区分   | 授業形態 | 配当年次 | 単位数 |
|--|------|------|------|-----|
| 授業の目的・目標   |      |      |      |     |
| 授業の概要  |      |      |      |     |
| 商空間・インテリア総合演習  | 選択必修 | 演習   | 3年次  | 3単位 |
| <p>授業の目的：<br/>新業種・業態の提案を通じてまちの活性化と新たな空間価値を創出する課題とする。調査・分析から対象地域の魅力を発掘し、住居利用や周辺住宅地との関係性も考慮した多角的な「商店街」のリブランディングの総合的な計画手法を習得する。</p> <p>到達目標：<br/>商圏人口の減少や建物の老朽化、後継者難に伴う様々な社会課題に伴う、店舗のコンバージョン、複合化等による商業施設の社会的責任や役割について考察し、具体的に提案できる能力を身につける。</p> <p>授業の概要：<br/>アーケード街や地下街、通り・街道、伝建地区等の商業集積地で対象化可能なエリアを選定し、1施設から商店街全体を対象とした総合的なプランニングを課題設定とする。地域分析および調査、個人課題の提案業種は物販、飲食、複合施設など自由に設定し、幅広い視野での提案力を修得する。</p> |      |      |      |     |
| 学科入門セミナー   | 選択   | 演習   | 1年次  | 1単位 |
| <p>授業の目的：<br/>大学での学習態度を身に付けてもらうこと、何よりも同級生や教員とお互いに知り合い、コミュニケーションを深めることにある。環境や建築のデザイン分野では、様々な人々と関わり合いながら作品をつくる。そのため、この事業の共同作業を通じて人の輪を広げ、合わせて、学外の施設を訪れることで、実際の建物や環境を読み取るフィールドサーベイに関心を持つきっかけとする。</p> <p>到達目標：<br/>フィールドサーベイの基礎、グループワークによるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身につける。</p> <p>授業の概要：<br/>グループ別で各教員が引率する神戸近郊の地区、建物などの見学会に参加。グループごとに見学内容を基にさらに調査を進めレポートを作成。全体講評会で成果をプレゼンテーションする。</p>                      |      |      |      |     |
| 現代の建築  | 選択   | 講義   | 1年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>現代建築の事例を概観することで、それらの多様な実践を知ると同時に、なぜそうしたテーマに取り組むのかを理解する。</p> <p>到達目標：<br/>現代建築の多様性を理解し、代表的な建築家と作品を知識とする。またそれらの作品が意図するところを、文化的社会的背景を踏まえて考えられる。</p> <p>授業の概要：<br/>現代建築へ至る過程ではいくつかの革命的転換点があったが、それらは過去との断絶ではない。それぞれの時代・地域の社会・文化の中で建築家は何を考えてきたのか。過去から変わったもの、変えられなかったもの、過去にはなかった新たな問題は何か。近代建築の意義を踏まえたうえで、現代の建築家の実践、そしてこれからの建築を展望する。</p>   |      |      |      |     |
| ランドスケープデザインの歴史   | 選択   | 講義   | 1年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>ランドスケープデザインの近代史について映像を中心に学修する。</p> <p>到達目標：<br/>それぞれの年代におけるランドスケープ作品の空気感を直感的に習得する。</p> <p>授業の概要：<br/>公園・広場および庭園の空間を対象としたランドスケープデザインの歴史的な意味や社会的な役割について、建築やアートなどの時代背景と共に、その時系列的な探求によってアプローチする。このことによって、ランドスケープデザインの基礎知識の習得および建築や都市計画、インテリア、アートなどの他領域との関係性や協働性を考えるきっかけづくりとなる。</p>   |      |      |      |     |
| 商空間のブランディング  | 選択   | 講義   | 1年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>ブランドマネジメントやディレクションの視点に立ち、空間の基本的な組立て方を理解し、商空間における企画・運営の仕組みを修得する。また、様々なメディアやコミュニティと共存する実態を理解することによって、今後の商空間の在り方を提案できるプランニングの能力を身につける。</p> <p>到達目標：<br/>商空間を計画するプロセスを学び、市場傾向分析・商品化計画・販売計画など、広い視野で空間の運営を捉え企画提案ができる。</p> <p>授業の概要：<br/>生活者のライフスタイルを分析し、消費者ニーズを理解する。今後更に重要視されるコミュニケーションデザインやコンテンツデザインとのつながりを理解し、生活シーンの需要に応える空間ブランディングの手法を修得する。</p>   |      |      |      |     |
| CAD応用演習  | 選択   | 演習   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>プレゼンテーションボードの作成を繰り返し行うことで、検討及び表現両方の実践に必要な技術を習得する。</p> <p>到達目標：<br/>自分がデザインする建築物について表現の幅を広げるだけでなく、検討する際にもデジタルツールを有効的に用いることができるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>課題を通してCADだけでなくモデリング・レンダリング・レイアウトなど複数のツールを積極的に横断しながら用いることで多様な技術を習得するとともにプレゼンテーションボードとして表現する。また、既存の建築物を扱うだけでなく自分で設計した作品や新たにデザインを伴う課題に取り組むことで表現と検討を行き来しながら実践的なツールの使い方を習得する。</p>   |      |      |      |     |

| 科目名   | 区分 | 授業形態 | 配当年次 | 単位数 |
|---|----|------|------|-----|
| 授業の目的・目標  |    |      |      |     |
| 授業の概要   |    |      |      |     |
| インテリア製図演習   | 選択 | 演習   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>商業施設のデザインにおいて標準的なアプリケーション（Vectorworks）を用いて、2D図面データの作成から3Dモデリング、レンダリングまで一連の操作を習得する。</p> <p>到達目標：<br/>同一のアプリケーションでデザインの検討段階からプレゼンテーションまで連続して効率的に進める実践的な技術を演習によって身につけることができる。</p> <p>授業の概要：<br/>図面トレースからレンダリングまでの基礎課題と各自でテーマを設定した商空間の応用課題で商空間と什器などの構成要素の製図法を修得する。</p>  |    |      |      |     |
| 集住とまちづくり  | 選択 | 講義   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>都市・田園・集落など多様な環境における住まいと住まい方を学び、計画論、居住文化、生活様式、住まいのあり方、集まり方について習得し、地域計画やまちづくりの実践に生かすことができるようになる。</p> <p>到達目標：<br/>都市や集落に形成される「集まって住むかたち」の意味を捉え、場所や居住空間の違いを論じることができるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>ある原理に基づいた明確な意思のもとにつくられる建築や都市の成り立ちと、その土地の伝統や慣習、自然環境とのかかわりによってつくられる民家や集落の集合原理を学ぶ。前半では居住地空間の形成過程と計画手法の関係を読み解きながら、都市的な集住の方法を解説する。後半では、農山・漁村・島嶼に継承されている多様な地域文化と空間構造について概説し、土地利用や社会状況をふまえながら集まって住むことの意味を学ぶ。</p> |    |      |      |     |
| ガーデンデザインの実践手法   | 選択 | 講義   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築空間や商空間と連動する庭園やガーデン空間の実践的なデザイン手法を学修する。</p> <p>到達目標：<br/>建築デザインやインテリアデザインと共にガーデンデザインを思考できる能力を習得する。</p> <p>授業の概要：<br/>ガーデンデザインの構成要素の学修および戸建住宅や共同住宅などの住環境におけるガーデンデザイン、店舗や公益施設などの商環境におけるガーデンデザイン、公共空間におけるガーデンデザインの事例を通じて、ガーデンデザインの実践的な手法を習得し、ガーデンデザイナーもしくは建築、商空間デザインに活用できる能力を身につける。</p>  |    |      |      |     |
| 熱・光・空気的设计   | 選択 | 講義   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>熱、光、空気の物理的性状と、それを利用したパッシブデザイン手法について理解する。</p> <p>到達目標：<br/>事例を通じその計画手法を学び、建築設計における環境計画に生かすことができるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>建築とその周辺環境を形成する環境要素のうち主に熱、光、空気の物理的性状について学ぶ。そして自然・人間・建築の良好な関係をつくり、高い快適性や健康性を獲得しながら省エネルギーに寄与するパッシブデザインについて、実際の設計事例を交え、建築設計に生かす方法を考える。</p>  |    |      |      |     |
| 建物のしくみ  | 選択 | 講義   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築を学習するにあたり、最も基礎的事項である建築構法を理解することにより、設計実習や構造力学など建築の専門授業のベースとなる知識を身につける。</p> <p>到達目標：<br/>・建築の構造種別、架構形式の説明ができる。<br/>・木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造の建物について、その特徴を説明できる。<br/>・木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造の建物について、各部位の名称や施工方法の説明ができる。</p> <p>授業の概要：<br/>建築設計を学ぶにあたり、最も基礎的事項となる「建物のしくみ」（建築構法）について学習する。主に建物の骨となる「躯体」について、その考え方や形式および施工方法について学習し、建築に関する基礎的知識を習得する。</p>  |    |      |      |     |
| インテリアデザインの歴史と領域   | 選択 | 講義   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>インテリアデザインの歴史的な概念の成立と変遷、様式と社会背景を理解し、空間構成の基礎知識を修得する。近代の日本が洋式の生活スタイルを採用する経緯から生活様式、社会環境の変化や問題点を理解し、今日のインテリア計画の考え方を理解する。</p> <p>到達目標：<br/>インテリアデザインにおける対象範囲や歴史様式、空間の構成要素の基礎的な知識修得とそれらの背景にある時代や社会条件との関連、役割を理解できる。</p> <p>授業の概要：<br/>授業前半はインテリアデザイン概念の成立と歴史を主とし、西洋と日本の空間構成の特徴を理解する。後半ではその知識を基盤として、インテリアデザインの関連領域と空間計画におけるデザインプロセスの概要、社会的役割・動向を理解し、今日のインテリアデザインの考え方と設計・表現技法についての基礎知識を修得する。</p>              |    |      |      |     |

| 科目名   | 区分 | 授業形態 | 配当年次 | 単位数 |
|---|----|------|------|-----|
| 授業の目的・目標  |    |      |      |     |
| 授業の概要   |    |      |      |     |
| <b>建築設計論</b>  | 選択 | 講義   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築設計の背景、類型、及びその変遷をたどり、建築空間を成立させている設計原理の基礎的理解とその発展的な方法論について考察する。</p> <p>到達目標：<br/>建築空間を成立させている設計原理の基礎的理解とその発展的な方法論について考察し体系的な知識を習得することで、実際の建築設計に応用できるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>いくつかの代表的なビルディングタイプごとに、具体的な建築空間に込められた設計手法を学び、実際の建築設計に応用できるよう考察を加える。</p>   |    |      |      |     |
| <b>地域デザイン概論</b>   | 選択 | 講義   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>都市計画のしくみとまちづくりが生まれた社会的背景およびプロセスについて理解する。地域の調査・分析手法に関する知識を得て、具体的な地域への初歩的な適用を考えられるようになる。</p> <p>到達目標：<br/>まちづくりの考え方と手法について修得し、いくつかの事例を取り上げながら説明できるようになる。得られた知識と考え方を応用して基礎的な地域調査が実施できるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>都市計画の理論・制度の仕組みとまちづくりにおける基本的な考え方・方法論について学び、まちを構成する公園・広場・街路などの要素と土地の固有性、そこで暮らしている人々との関係について理解を深める。そして、地域の見方と調査法を学び、実際の地域の特性と課題を把握・分析する。</p> |    |      |      |     |
| <b>商空間デザインの実践手法</b>   | 選択 | 講義   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>商空間の変遷と業種・業態による類型、多様な事例を通して、デザインプロセスを理解する。それに基づいて、商空間デザインの可能性について考察し提案する基礎能力を身につける。</p> <p>到達目標：<br/>デザインプロセスの調査・企画・基本計画・設計・運用の各段階におけるデザイナーの役割と手法を理解できる。社会背景や消費行動との関係性を理解し、調査分析・企画立案に活用できる。<br/>商空間の事例分析を通して、構成手法を理解しデザインに応用できる。</p> <p>授業の概要：<br/>商空間の変遷や類型と多様な具体事例についての講義を基本とする。簡単な事例分析の演習により、現状の観察から問題点を抽出しこれからの商空間のあり方についての考察力・提案力を修得する。</p>      |    |      |      |     |
| <b>環境制御の技術</b>  | 選択 | 講義   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築の環境設備設計に関する幅広い知識や、高効率で環境負荷の少ない設計手法について理解する。</p> <p>到達目標：<br/>建築の環境設備設計に生かすことができるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>現代の都市には多岐に渡る建築用途が存在する。それぞれに要求の異なる機能、快適性、安全性などを確保するためには高度な環境制御（設備システム）が不可欠であるが、同時に地球環境負荷の少ない設計も求められる。実際の設計事例を交え、これらについて習得する。（環境制御設計例の中で、学外見学を実施することがある）</p>   |    |      |      |     |
| <b>構造の力学 I</b>  | 選択 | 講義   | 2年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築の設計を行うにあたり不可欠な構造についての知識を身につけ、構造力学の基礎を学び計算方法を習得し、建物に流れる力について理解する。</p> <p>到達目標：<br/>・建物に働く荷重について説明することができる。<br/>・支点反力の算出ができる。<br/>・断面力の概念について説明することができる。</p> <p>授業の概要：<br/>建築構築デザインの基礎となる構造力学を学ぶ。静定構造の力学を学ぶことにより、構造の基本的考え方や計算方法を習得する。</p>   |    |      |      |     |
| <b>構造デザインの実践手法</b>  | 選択 | 講義   | 2年次  | 1単位 |
| <p>授業の目的：<br/>様々な設計の実例を見ることで、建築設計における構造デザインの役割や手法、構造力学がどのように建築設計に行かせていくかを習得する。</p> <p>到達目標：<br/>・建築構造デザインの概念について説明することができる。<br/>・木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造の建築について、その構造システムの特性を説明できる。</p> <p>授業の概要：<br/>これまで学習してきた力学の知識をベースに実務的な構造設計および構造デザインについての知識を習得する。実例を通してどのような考え方で建築の構造が決定するのか、構造設計が建築全体のデザインにどのような影響を及ぼすか等を学習する。</p>  |    |      |      |     |

| 科目名   | 区分 | 授業形態 | 配当年次 | 単位数 |
|---|----|------|------|-----|
| 授業の目的・目標  |    |      |      |     |
| 授業の概要   |    |      |      |     |
| <b>環境設備デザインの実践手法</b>  | 選択 | 演習   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>熱、光、空気について体感と理論をつなげて理解する。</p> <p>到達目標：<br/>体感と理論をつなげたプロセスを通じ、建築の環境設計に生かすことができるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>熱、光、空気に関する屋内外の現象について、各種の測定機器を用いその物理量測定を行う。またコンピュータシミュレーションを用いた解析演習も加え、自らの感覚とこれらのデータを照らし、具体的に建築設計に生かす方法を考える。</p>  |    |      |      |     |
| <b>商空間プロデュース</b>  | 選択 | 演習   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>空間設計に関わるゾーニング・導線や家具・什器、展示・照明、グラフィック・サイン、素材・仕上などの多様な構成要素を理解し、総合的な視点を持ってプロデュースの手法や手段を理解する。</p> <p>到達目標：<br/>商環境の企画・デザインの考え方を理解し、多様な要素を関連づけて提案できる基礎能力を演習形式で修得する。空間の構成要素であるサイン計画や家具・什器、照明など、演習と見学によって体験的に理解できる。</p> <p>授業の概要：<br/>店舗の企画段階および完成後の継続的運営に関わる連携店やECサイトとの関係性、社会情勢や季節に応じた実店舗での視覚効果（VMD）、顧客とのコミュニケーション方法・プロモーションなど、流動的な要素の必要性和効果について理解する。フィールドワークによる業種・業態の事例調査・分析を通して商環境の企画・デザインの考え方を修得する。</p> |    |      |      |     |
| <b>ランドスケープ計画論</b>   | 選択 | 講義   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>都市計画および農村計画におけるランドスケープ計画の役割や意義を学修する。</p> <p>到達目標：<br/>様々なスケールや状況に応じたランドスケープ計画を立案できる素養を身につける。</p> <p>授業の概要：<br/>地区スケールから広域スケールに至るランドスケープにおいて、プレイスメイキング、コミュニティデザイン、エコロジカルデザインなどの視点から、ランドスケープ計画の理論や実践を学修する。このことによって、都市計画やまちづくりにおけるランドスケープ・プランニングの役割を理解し、ランドスケープの視点からの計画・立案できる能力を身につける。</p>   |    |      |      |     |
| <b>日本建築の歴史</b>  | 選択 | 講義   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>環境をデザインするときに、地域の歴史文化的アイデンティティを適切に継承する力を身につけるために、本授業では、日本の伝統的な建築の基礎的な特徴を知り、それらの成り立ち及び変遷について理解する。</p> <p>到達目標：<br/>日本の伝統的な建築の特徴を説明できる。身の回りの建築の歴史的特徴に対する観察力が身につく。</p> <p>授業の概要：<br/>この授業では、古代から近代にわたる日本の歴史的な建築（寺社建築、住宅、城郭、近代建築等）を中心に、インテリアから都市計画まで広範な領域を対象として、基礎的な特徴や、成り立ち及び変遷について、解説する。</p>   |    |      |      |     |
| <b>建築計画</b>   | 選択 | 講義   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>多様化する建築を取り巻く社会背景を考慮し、現代における建築空間のプランニング手法に関して、物理的な空間の生成原理にとどまらず、多角的かつ横断的にその基礎的なメカニズム及び方法論を学ぶ。</p> <p>到達目標：<br/>本授業で学んだ計画手法を、自身の建築設計のプロジェクトにおいて応用できるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>活動→空間→建築→都市という関係のなかで基礎的な事例を理解し、その方法論を習得する。建築設計における実務経験のある教員が、実践的な建築設計を前提とした建築計画のプランニングを取り扱う。</p>   |    |      |      |     |
| <b>構造の力学Ⅱ</b>   | 選択 | 講義   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>「建築構造入門」に引き続き、構造力学の基礎を学び計算方法を習得し、建築構造設計に関する知識を深める。</p> <p>到達目標：<br/>・ 静定構造物にはたらく断面力の算出ができる。<br/>・ 静定トラスにはたらく軸力の算出ができる。<br/>・ 断面2次モーメント等の断面パラメータおよび応力度の算出ができる。<br/>・ 不静定構造物についての基本的な考え方を説明できる。</p> <p>授業の概要：<br/>「構造の力学Ⅰ」に続き、建築構造力学の基礎を学ぶ。静定構造物に関しては、断面力や応力度の算出方法を習得し、不静定構造物についても基礎的な計算方法についての考え方を学習する。</p>  |    |      |      |     |

| 科目名   | 区分 | 授業形態 | 配当年次 | 単位数 |
|---|----|------|------|-----|
| 授業の目的・目標  |    |      |      |     |
| 授業の概要   |    |      |      |     |
| <b>構造・材料ワークショップ</b>   | 選択 | 演習   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築の構造材料の特性を座学と実験によって学ぶことにより、建築の設計において適材適所の材料の使用方法について理解する。</p> <p>到達目標：<br/>・木、鉄、コンクリートの建築材料についてその特性を説明することができる。<br/>・コンクリートの配合方法や力学試験の方法を説明することができる。</p>   |    |      |      |     |
| <p>授業の概要：<br/>・木、鉄、コンクリートの建築材料についてその特性について解説し、コンクリートや鉄筋の強度試験を実際に行いその力学特性を確認する。</p>  |    |      |      |     |
| <b>民家と町並みの歴史</b>  | 選択 | 講義   | 3年次  | 1単位 |
| <p>授業の目的：<br/>環境をデザインするときに、地域の歴史文化的アイデンティティを適切に継承する力を身につけるために、本授業では、日本の伝統的な民家と町並みの基礎的な特徴を知り、それらの成り立ち及び変遷について理解する。</p> <p>到達目標：<br/>日本の伝統的な民家と町並みの特徴を説明できる。身の回りの民家と町並みの歴史的特徴に対する観察力が身につく。</p>  |    |      |      |     |
| <p>授業の概要：<br/>日本人は住む「場所」をどのように選び、その環境・自然や歴史文化とどのように呼応しながら「住まい」をつくり、「都市」「集落」を形成してきたのか。この授業では、日本の「都市」や「集落」の歴史と、その空間構成の基礎となる「住まい」の多様性と地域性について、環境や地域文化などの背景とともに解説する。</p>  |    |      |      |     |
| <b>都市デザイン論</b>  | 選択 | 講義   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>都市デザインの系譜と、現在展開されている様々な主体による都市デザインの理論と実例について学ぶ。</p> <p>到達目標：<br/>環境デザインにおける都市的思考を養うことで、実際にデザインに取り組む際に対象地の環境を理解する方法を習得することを目標とする。</p>  |    |      |      |     |
| <p>授業の概要：<br/>都市空間をデザインする主体として、これまでは自治体や建築家・プランナーが中心であったが、近年では個人や団体による都市デザインを萌芽的に観察することができる。この授業では、デザインの主体別の都市デザインの理論と実践を、その系譜と共に学ぶ。</p>  |    |      |      |     |
| <b>西洋・近代の建築</b>   | 選択 | 講義   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>西洋史を理解しながら、古代から近代に至る西洋（ヨーロッパ）建築の歴史を概観して理解する。</p> <p>到達目標：<br/>歴史的な視点から、現代建築のデザインを考えることができるようになる。<br/>自らの設計において、過去の事例を参照しながら設計することができるようになる。</p>   |    |      |      |     |
| <p>授業の概要：<br/>古代～中世～近世～近代へと動いてきた西洋建築の歴史を検証する。</p>   |    |      |      |     |
| <b>リノベーションの理論と実践</b>  | 選択 | 講義   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築からまちや地域までのリノベーションについて、その考え方の基本的枠組みから企画や設計の具体的方法までを、多くの事例を通して具体的・実践的に学ぶ。</p> <p>到達目標：<br/>今日的な課題である既存建築ストックを活用することについてのさまざまな背景、ならびに具体的なリノベーションを行なうために必要な論理と設計手法を理解する。<br/>受講を通して、リノベーションの実践に必要な知識を修得し、リノベーションのデザインを提案できる力を身につける。</p> |    |      |      |     |
| <p>授業の概要：<br/>建築からまちや地域までのリノベーションについて、その考え方の基本的枠組みから企画や設計の具体的方法までを、多くの事例を通して具体的・実践的に説き起こす。</p>  |    |      |      |     |
| <b>施工の技術</b>  | 選択 | 講義   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築生産システムと施工についての基礎知識を学ぶことにより、建築の企画・設計と生産・施工との関係を理解する。</p> <p>到達目標：<br/>各種工事の施工計画、施工方法が理解できるようになる。</p>   |    |      |      |     |
| <p>授業の概要：<br/>建築士やインテリアプランナーをはじめ、将来的に建築に関わるために必要となる建築生産のしくみと施工の基礎知識を学ぶ。期間中には1回の建設作業所学習を予定し、体験を通して講義内容をより深く身につける。</p>  |    |      |      |     |

| 科目名   | 区分 | 授業形態 | 配当年次 | 単位数 |
|---|----|------|------|-----|
| 授業の目的・目標  |    |      |      |     |
| 授業の概要   |    |      |      |     |
| <b>建築と法規</b>  | 選択 | 講義   | 3年次  | 1単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築法規が必要となる社会・技術的背景を学び、建築の設計と法規がどのように関係しているのかを理解する。</p> <p>到達目標：<br/>設計の基礎となる建築法規の基本を理解し、特に設計計画で必要となる建物規模や建物の部位に関するさまざまな数値を導き出す計算の方法と意味が理解できるようになる。</p> <p>授業の概要：<br/>建築基準法および建築基準法施行令にもとづき建築法規の基本を概説する。<br/>計画の基本に関わる用途地域、居室の条件、道路と敷地、建築面積・建ぺい率・容積率、高さ制限に関して詳しく解説する。</p>  |    |      |      |     |
| <b>インテリアデザイン論</b>   | 選択 | 講義   | 3年次  | 2単位 |
| <p>授業の目的：<br/>建築全体とインテリア空間との関係性を理解したうえで、インテリア独自のエレメントのデザイン方法論を学ぶ。</p> <p>到達目標：<br/>近代以降の室内空間の意義を理解する。ビルディングタイプによるインテリア空間の特性や必要とされる機能・エレメントを理解できる。</p> <p>授業の概要：<br/>実際の建築では、内部空間と外部空間は一体であり、家具配置からランドスケープまで、空間デザインの一貫性が求められる。一方、室内空間は最も身近な日常空間であり、より個人的な身体感覚に寄り添ったデザインが求められる。この授業では「個人」の成立と「個室」の確立から始め、建築史上の作品を通して、インテリアデザインに込められた思想を理解する。またビルディングタイプによる空間特性や要求されるエレメントの具体的デザイン手法を学ぶ。</p> |    |      |      |     |
| <b>環境デザイン特別講義A</b>  | 選択 | 講義   | 1年次  | 1単位 |
| <p>授業の目的：<br/>環境デザインに関わる多様な専門領域における先進的な取り組み事例を知ること、現代社会における環境デザインの課題と可能性を理解する。</p> <p>到達目標：<br/>多様な先進事例から環境デザインに関わる知見を得ることにより、空間デザインの構想力を高めることができる。</p> <p>授業の概要：<br/>学外から特別講師を招聘して、講義をしていただく。特別講師は、各界で活躍する第一人者で、「まちづくり・ランドスケープ」「建築・リノベーション」「商空間・インテリア」の3コースを考慮した講師を予定している。</p>   |    |      |      |     |
| <b>環境デザイン特別講義B</b>  | 選択 | 講義   | 1年次  | 1単位 |
| <p>授業の目的：<br/>環境デザインに関わる多様な専門領域における先進的な取り組み事例を知ること、現代社会における環境デザインの課題と可能性を理解する。</p> <p>到達目標：<br/>多様な先進事例から環境デザインに関わる知見を得ることにより、空間デザインの構想力を高めることができる。</p> <p>授業の概要：<br/>学外から特別講師を招聘して、講義をしていただく。特別講師は、各界で活躍する第一人者で、「まちづくり・ランドスケープ」「建築・リノベーション」「商空間・インテリア」の3コースを考慮した講師を予定している。</p>   |    |      |      |     |
| <b>環境デザイン特別講義C</b>  | 選択 | 講義   | 1年次  | 1単位 |
| <p>授業の目的：<br/>環境デザインに関わる多様な専門領域における先進的な取り組み事例を知ること、現代社会における環境デザインの課題と可能性を理解する。</p> <p>到達目標：<br/>多様な先進事例から環境デザインに関わる知見を得ることにより、空間デザインの構想力を高めることができる。</p> <p>授業の概要：<br/>学外から特別講師を招聘して、講義をしていただく。特別講師は、各界で活躍する第一人者で、「まちづくり・ランドスケープ」「建築・リノベーション」「商空間・インテリア」の3コースを考慮した講師を予定している。</p>   |    |      |      |     |
| <b>環境デザイン特別講義D</b>  | 選択 | 講義   | 1年次  | 1単位 |
| <p>授業の目的：<br/>環境デザインに関わる多様な専門領域における先進的な取り組み事例を知ること、現代社会における環境デザインの課題と可能性を理解する。</p> <p>到達目標：<br/>多様な先進事例から環境デザインに関わる知見を得ることにより、空間デザインの構想力を高めることができる。</p> <p>授業の概要：<br/>学外から特別講師を招聘して、講義をしていただく。特別講師は、各界で活躍する第一人者で、「まちづくり・ランドスケープ」「建築・リノベーション」「商空間・インテリア」の3コースを考慮した講師を予定している。</p>   |    |      |      |     |



| 科目名  | 区分 | 授業形態 | 配当年次 | 単位数  |
|--|----|------|------|------|
| 授業の目的・目標   |    |      |      |      |
| 授業の概要  |    |      |      |      |
| <b>卒業研究</b>  | 必修 | 実習   | 4年次  | 10単位 |
| <p>授業の目的：<br/>卒業研究では、卒業論文及び卒業制作に取り組むことを通して、現代社会における環境デザインの課題を自らの力で発見・設定し、それらの課題について分析と考察を行い、論理的思考に基づき構想し、解決方法の提案を展開する。</p> <p>到達目標：<br/>リサーチとデザインをまとめるなかで、研究およびデザイン提案を文章や図面・模型等を用いて的確に表現できる力を得る。</p> |    |      |      |      |
| <p>授業の概要：<br/>卒業論文では、論文を組み立てる論理的思考と合理的研究方法を修得する。卒業制作では、現代の都市や社会への問題意識に基づき環境デザインとしての提案を表現することを学ぶ。<br/>卒業研究は、学生が指導教員を選び、そのゼミ指導のもとで進める。卒業論文と卒業制作とは、基本的には独立しているが、両方のテーマに関連性を持たせて取り組むことも可能である。</p>        |    |      |      |      |